夕刊
新京日日新聞
定價 一箇月 金三圓八十錢
郵税 一箇月 金五十錢
新京永樂町四丁目一番地
發行所 新京日日新聞社 電話三三〇〇番・三五二二番
發行人 十河榮
編輯人 松本忠男
印刷人 谷啓二郎

紡績聯合會が印棉買入停止決議を可決
堂々聲明書を發す

【大阪十三日發國通】紡績聯合會では十三日午後五時大阪棉業會館で聯合協議會を開き會員六十三社中四十三社出席安部委員長の挨拶の後十二日の委員會で可決を見た印棉買入れ停止に關する決議案を可決し右會議後聲明書を發表左の如く闡明した

英印兩政府にして態度を改めざる限り我等は利害を超越し、萬難を排し本決議の實行を期す、我々は國民諸君が我等の立場を諒とし援助を與へられんことを切望す

經濟聯合會　抗議文を發して英實業家に反省

【東京十三日發國通】經濟聯合會では英國實業家の反省を促すため左の抗議文を英國商工會議所會長マンチエスター商業會議所會頭に打電し門野顧問にも打電するところあつた

英本國と屬領の最近に於ける政策は經濟會議の根本精神に背反する、印度關税は我輸出綿布に致命的打撃を與へ、關係業者は印綿不買同盟を敢行せんとし、綿製品以外のものも英國品や屬領品に報復關税を設定せんとするいふ情勢に至つた、吾人は茲に貴國官民の反省を促す次第である

英國政府　戰債問題協議

【ロンドン十三日發國通】英國政府は十二日深更より緊急閣議を開き戰債問題に就き重要協議を遂げたが、何等の決定を見るに至らなかつた、戰債問題に關しては目下ワシントンに於て依然交渉繼續中と解される、一方ローマ來電に依ればフアシスト代表オギカイ氏は來る六月十五日支拂期日に達する對米戰債年賦金に對し最終的決定に達した旨十二日夜發表した

對米爲替は廿七弗見當で頭打か

【東京十三日發國通】七日對米二十五弗の大關門を突破した爲替は昨年八月以來の新高値を示現するに至つた、我對米爲替は其後連日昂騰の一途を辿り先行尚强氣配を示して居る、此騰勢が目先き何の程度迄持續すべきかに就き爲替銀行筋の意見を綜合するに現在の騰勢は專ら海外事情即ち弗自身の不安に基因するものなるを以て已むを得ざる處であり、同時に同じ理由から此限度に對する正確なる見透しはつかず、結局當分强調を續くべきは避くべからざる處と爲して居る、但し英米クロスの上騰にも自ら一定の限度あり先づ四弗二、三十仙が其最高限度として一般に信ぜられて居るので之を基準とすれば、日英一志三片として對米二十六弗四分の一乃至四弗三十仙として二十六弗八分の五となる恐らく現在各種の事情を綜合して勢々二十七弗まで上進して一と先づ頭打となるのが最も妥當な觀方だと信ぜられて居る

「見當」

中央治維委員會開かる

日滿兩國軍警代表者を以て組織する中央治安維持委員會は十三日午後一時より關東軍司令部內食堂に於て開會、日本側よりは小磯參謀長、岡本憲兵司令官、岡村參謀副長、以下軍司令部各課長、森本警務局長代理、滿洲國側よりは多田軍政部最高顧問以下各顧問、長尾警務司長その他關係者出席、委員長に小磯參謀長、幹事長に齋藤第一課長就任し

一、長城線確保後に於る關內の治安維持
一、今後の治安方策に伴ふ日滿軍警の分散配置
一、北鐵買收後に於る鐵道警備方策

等に就き種々重要協議を行ひ同六時散會した今後も必要に應じ第二、第三回委員會を開催の筈、尚ほ幹事には左の諸氏が決定した

△日本側　田中、遠藤、鹽澤、藤本、森、鈴木、高地の各少佐、森本關東廳警務課長
△滿洲國側より石野、住谷、軍政部顧問・星子警務司總務課長

人口增加で朝鮮人教育機關不足

新京朝鮮人居留民會では首都新京の將來の發展を見透して至る各地及鮮內より移住する者は日々增加して居るが兒童教育機關としては僅か一校のみでそれも設備不足の狀態にあるに鑑み、之が對策として更に教育機關の增設方を陳情すべく目下寄々協議中であるが、近く滿洲國及び滿鐵に代表者を派遣して要望することゝなつた

對支貿易回復に南支へ代議士派遣　安達總裁幹部會で發議

【東京十三日發國通】安達總裁は十三日午後の國民同盟幹部會で

滿蒙問題も一段落を告げ今や對支貿易回復の時期到來した、この時我黨は代表者を南支方面に特派し平案の主張たる亞細亞モンロー主義確立とボイコツト終熄の國民運動を起すべきだと發議し、全員一致贊成、東京、大阪、神戸の對支貿易業者の意見を聽取した上菊地代議士他三名を特派するに決した

滿洲國に於る砂糖事情（六）
經濟事情案內所調査

日本	一六、八一三	一五四、九六六
香港	一一、二〇五	一四、二八〇
蘭領印度	二、九七三	三三、一九九
露西亞（太平洋沿岸）	六	四三八
露西亞（西伯利）	三、一三一	四五、七四一
合計	一〇三、七三〇	一、〇九四、七七七

註、以上の各統計は昭和四年昭和五年、昭和六年「滿洲貿易詳細統計」に據るより引用或は同統計より算出したものである

以上で大連、營口、安東、哈爾濱等より輸入される砂糖の種類及び其仕出地を詳細に表示したい而して右の外なほ龍井村及び琿春より輸入されるものがあるが、既に記載（北滿及び東滿砂糖輸入數量及び價格表）の如く極く少量であるから、その記載を省略する

第四輸入砂糖の分布狀態

以上に於て滿洲國內における砂糖製造及び輸入狀況を述べたが、次にその分布狀態の概況を調べて見やう

前記の如く大連を始めとして、營口（牛莊）安東その他より輸入される砂糖は鐵道の便によつて全滿的に分布されるが尤も河川、馬車等を利用して運搬されるものもあるが、此は大勢から見て大した數字に上らず、且つ統計を得ること困難であるから、茲には鐵道によるものによつて、その概況を見ることとする

一各驛發送數量

既述の如く現在、滿洲に輸入さるゝ砂糖の六割は大連を經由して居り、その他は營口安東等を經て各地に發送せられてゐる、その主なるものを舉げると次の如くである

各驛發送砂糖數量（昭和六年度）

到着驛	大連發送	朝鮮線（安東驛出）發送	安東發送	營口發送	合計
	噸	噸	噸	噸	噸
關東州內	三、八二三	—	—	—	三、八二三
金福線各驛	二四〇	—	—	—	二四〇
營口	三六八	—	—	—	三六八
海城	—	—	—	二〇五	三〇五
遼陽	一六八	一八〇	—	一九九	五四七
撫順	四四四	三六〇	—	—	八四四
奉天	一、三〇二	二、五八〇	三二一	一五三	四、三二六
瀋海縣各驛	—	—	—	二六九	二六九
鐵嶺	一七一	一八〇	—	—	三五一
開原	四六八	三六〇	—	一一三	九二三
四平街	一七三	五四〇	—	一一五	七六八
四洮線各驛	一七七	—	—	一八〇	三五七
公主嶺	一七三	一八〇	—	—	三五三
新京	五、二〇四	一、二六〇	一八〇	一、〇三三	七、九七六
吉長吉敦線各驛	一、九六六	七二〇	—	—	二、六八六
安奉線各驛	—	—	—	—	—
其他各驛	三、六六七	二一〇	二四〇	—	二、七〇六
合計	一八、七二三	六、五六〇	三七七	四〇七	四、九〇一
昭和五年	一八、五三二	九、七二〇	一、〇九八	二、九〇五	二九、〇三六
			一、五七五	六、七二九	三六、五三六

註「滿鐵鐵道統計年報」に據る

ほくほくの酒税局　二千萬圓增收

【東京十三日發國通】昭和八年度製酒造石高は四百萬石と決定、豫算見積りに比し四十萬石の增石となり、千六百萬圓の酒造税を增收する事となつた、又ビールの釀造高も相當增加の見込で酒税全體では二千萬圓の增收を見るだらうと酒税局ではほくほくである

退去命令を受けた支那學生十三日送還さる

【東京十三日發國通】共產主義實行運動に關連し退去命令を受けた支那留學生十六名は十三日神戶出帆の長崎丸で上海に送還された

大日本製糖　八分配据置

【東京十三日發國通】大日本製糖は廿日午後一時定時總會を開き、年八分配當据置きを決定の筈

民國人提出論文　博士號授與

【仙臺十三日發國通】東北帝大では中華民國福建省人黃丙丁氏提出の博士論文を審議の結果之を可決、博士號を授與する事になつた同氏は目下東北帝大醫學部皮膚病教室に勤務中である

危險率多き作業者に特別賞與

【鞍山十三日發國通】新設された鞍山昭和製鋼所では銑鐵工場、硫酸工場等危險率多き作業工場あるため募集された苦力、工人等は萬一を考慮して逃亡する者續出、既に二百數十名の多數に上つてゐる狀態なので同所勞務係では之が對策として特殊的賞與を出すべく目下協議中なるが、何等かの名目で特別費用を捻出し危險率多き作業に從事する工人を優遇することに決定し近く實施される筈

珠玉を碎く（二十六）
（日活映畫上演）
吉井勇
（高根秀浩畫）

二つの手紙（十二）

「何です。日本劇場ですつて…」

英一は意外だといつたやうな顏付でやゝ聲を高くしてからいつたが、直に氣が付いてちよつと顏をあかくしながら、

「いゝぢやありませんか。日本劇場なら兎に角東京一の大劇場でもあるし、株主の連中もみんな上流階級の人達ばかりなんだから、仕事だつてやりいゝでせう」

原田はさういはれると勢ひ付いたやうにうなづいて、

「それぢやあ君は贊成して呉れるんですね。よろしい、それぢや僕はやることに極めますよ。實は僕は半月ほど前にあすこの社長の中村さんに呼ばれてこの話をされたんですが、兎に角專務といやあ中々責任が重いし、暫らく考へさして呉れと言つて歸つて來たんですが、それから毎日のやうに電話で返事を促されると言ふやうなわけで、實は何うしてゐゝか自分で決心が附かないで困つてゐたんですよ。それで兎に角あなたに御相談をして見やうと思つて、それでわざ〜お出でを願つた次第なのです」

「さうですか、そりやあいゝぢやありませんか。社長がそれほどに言ふのなら猶更ですよ」

が、原田はちよつと額の邊りに一抹の暗影を漂はせながら、

「しかしあすこの大株主で、時々脚本を書いたりする香山つて男がゐるでせう。何うもあの一派が僕の專務になるのにひどく反對してゐるさうですから、これだけが仕事の邪魔になりはしまいかと思つてゐるんですが……」

「成る程。香山一派は反對するでせうよ。しかし大丈夫ですよ。あの連中に何が出來るものですか。構はずぐん〜あなたのやらうと思つたやうに、仕事をして行けばいゝぢやありませんか」

「えゝそりやあ仕事をするとなりやあぐん〜思ひ通りにやりますがね。しかし劇場の經營なんてものは中々うるさいものでせうな」

「それは中々うるさいでせう。殊に日本劇場は專屬の女優もゐるしその間の暗鬪なんてものも、かなり酷いらしいですからね」

「さうでせうね……」

原田はさういつてから盃をテーブルの上に落して、何かぢつと考へてゐるやうだつたが、

「よろしい。やりますよ。しかし僕がいよ〜專務としてあの劇場を經營するやうになつたら、君もどうぞ僕の力になつて助けて下さい」

「えゝ、そりやあ無論助けますよ」

「それぢやあちよつと失敬！　さう決まつたら僕ちよつと中村さんのところへ電話を掛けて來ますから！」

原田はさう言ひ棄てたまゝ立ち上がつて、急いでこの部屋を出て行つてしまつた。原田が出て行くのと入れ違ひ位に、島田に結つた十六七位の品のいゝ小間使ひが紅茶々碗を載せた盆を持つて入つて來た。そしてそれをテイブルの上に置くと、丁寧にお辭儀をして滑るやうに出て行つてしまつた。

應接間の中は靜かだつた。暖爐の上の大理石の棚に置かれた、大きな塔のやうな形をした金色の時計が、微かに音を立てゝ時を刻んでゐた。英一はその靜けさの中にあつて、何を思ひ續けてゐたのか。彼れの目に映つてゐるものは、艶子の艶めかしい、歐風の繪からでも抜け出して來たやうな姿だつた。それは何時だかお七に扮した時の姿らしい……。

「さうだ。原田が專務になると面白いぞ」

さう思つて、更に空想を續けやうとしてゐる時、

「やあ、何うも失敬……」

といひながら原田が慌しげに入つて來た。

經濟會議第二日 石井全權の大演說

列席各國代表の注意をひく

會議漸やく緊張

〔ロンドン十三日發國通〕ロンドンに於ける世界經濟會議第二日の會議で石井全權は通貨運用政策、關稅引下け、世界通商障碍の廢棄問題に言及し就中最惠國條款の無制限的適用が此の際最も望ましいとて左の如く力說各國代表の非常な注目をひいた

日本は滿腔の熱意を以て參加したものである、昨日は英國皇帝の勅語を拜聽し事業成功の確信を深めた、經濟會議の開催に當り背後の橋を燒き背水の陣を敷くに至つたのは本會議にして失敗せんか、言語に絕する經濟破滅を全世界に招來するからである、金融政策、關稅引下げ、世界貿易の障碍撤廢又は緩和は最も愼重なる考慮を要すると同時に世界物價の水準引上げも注意すべきである、日本は金本位制復歸問題も各國と協力し現狀態を充當せしめ終局に於て金本位制を實現せんことを熱望す

其ためには國內的並びに國際的の準備手段を必要とし、同時に各國の財政狀態の考慮が必要である、本政策にして失敗せんか、戰慄すべき結果を招くであらう、日本政府は金本位制度復歸に至る臨時辦法として、爲替動搖防止策を執る用意を有する、低金利及信用擴張政策には共鳴する、銀使用國との通商關係あるに鑑み、銀問題解決に關する充分なる考慮を爲す用意あり、關稅障壁の低下及改廢の爲の手段を執るやう希望する、日本代表部は關稅協定を制定し、特定期間通商障壁を高めざる事の取極めをなす事に一時的方策として協力する、世界商品の自由交換の爲、最惠國條款を結ぶ事を最も希望する、日本は經濟不況の惡魔より救はるゝため、各國と協力するの決意を有することを强調せんとす

會議兩委員會出席の我委員決定す

〔ロンドン十三日發國通〕幹部會で設置に決定した兩委員會出席の我委員は通貨委員會に深井、津島の二氏、經濟委員會に門野顧問及び伊藤述史の二氏が參加に決定し、他方石井、松平兩全權は幹部會及び一般委員會に出席の外諸般の政治的折衝に當ることになつてゐる

經濟會議期間は六乃至八週間

『前途の見透しは困難』と外相閣議に報告

〔東京十三日發國通〕十三日の定例閣議で內田外相より經濟會議に關する報告あり經濟會議は一般的討議を三日位で打切り其後は專門的部門に分れて各分科會に移して審議が行はれる筈だが、經濟會議の期間は六週間乃至八週間となもう、前途の見透しは困難で簡單には行かぬと思はれると述べた

國都建設局管理 國有地商租暫行辦法

國務院訓令案可決

國都建設局長の管理する國有地の商租暫行辦法に關する國務院訓令は六月十二日第二十五次國務院會議に上程可決されたが右訓令全文は次の如くである

一、國都建設局長の管理する國有地の商租に關しては當分の內左記各項に依るべし

一、商租は長期商租及短期商租の二種とし長期商租は期間三十年にして其の滿了の際無條件にて更新することを得しむるものとし短期商租は期間三年以內のものとす

二、國都建設局長の管理する國有地を商租せむとする者あるときは國都建設局土地建造物賣却及貸付規則に依る賣却及貸付に對する入札其他一切の申込に參加せしめ買受人又は借受人たることを決定したるとき其の買受人たる場合にありては長期商租契約其の借受人たる場合にありては短期商租の契約をなすべし

三、前項の規定により商租契約をなす場合に於ては國都建設局土地建造物賣却及貸付規則に準じ長期商租にありては土地賣却の例短期商租にありては土地貸付の例に依る旨を契約書に記載することを要す

四、商租契約を締結するときは商租人は商租地に付定規の還稅及地方稅納付の義務を負擔すべき旨を契約書に記載することを要す

政友會の內紛鎭靜か再燃か

鈴木總裁十四日の裁斷注視

〔東京十三日發國通〕强硬、自重、一國一黨派の三巴となつて抗爭を續けた政友會の內紛も望月、山本兩長老調停の結果一國一黨論者は數日前に實行運動を中止し、自重、强硬の兩派は十三日夫々有志代議士會を開いて裁斷を待つ事に決定、兩長老に報告したので兩長老は十三日午後四時三十分打揃ふて鈴木總裁私邸を訪問この旨報告するところあつたので鈴木總裁はこの報告に基づき愼重に裁斷案を決定十四日午後一時總務會、幹部會、議員總會を本部に開いて對政府關係裁斷を下すこととなつたがこの裁斷で政友會內紛は鎭靜するか否か疑問視されてゐる

日銀週報

〔東京十三日發國通〕日銀週報左の如し

發行兌換券	一〇三五三一九六
正貨準備	四二五〇六九
保證內譯	
公債	三九六四〇五
政府證券	二一〇〇〇
證券	五四四九六
手形	三三四三二四

北鐵買收交涉 帝國政府の肚

一兩日中に決定せん

〔東京十三日發國通〕北滿鐵路回收交涉に對する政府の方針は一兩日中に決定するが、大体左の通りである

一、日、滿、蘇の直接交涉主義を執る

一、右交涉は滿洲國承認となる故成功を期待する

一、交涉場所は外務次官官邸とする

一、北鐵讓渡の交涉を主とし日滿蘇共同委員會問題に觸れず

一、重光次官が主として、之に當り、內田外相も隨時斡旋する

駐日蘇聯大使 重光外務次官訪問

北鐵讓渡交涉の打合せを行ふ

〔東京十三日發國通〕駐日蘇聯大使ユレーネフ氏は十三日正午重光次官を、同大使館參事官スピルワニーク氏は東郷歐米局長を夫々相前後して『訪問』し、北滿鐵道讓渡交涉に關する下打合せを行つた、その際蘇聯大使は、右交涉に對する蘇聯側代表として、駐日大使ユレーネフ、外務人民委員會極東部長、コズロフスキー、北滿鐵道副理事長クズネツオフの三氏を任命に決定せる旨を通告したが、右に對し、外務省側は滿洲國代表としては交通部總長丁鑑修氏、駐日公使丁士源氏、外務次長大橋忠一氏、交通部鐵道局長森田成之氏の諸氏が任命されることに內定してゐる旨を述べ、日本側は單に斡旋役として東郷歐米局長が必要に應じて會議へ出席することもあるべき旨を『通達』した尚交涉開始期は豫定通り六月二十五日よりとし會議場としては、外務次官官舍を使用することに打合せを行ふこととなつた

心許せざる支那の現狀を語る

中村軍司令官

〔天津十三日發國通〕停戰協定成立後に於ける華北の現狀に就き當地駐屯軍中村軍司令官は次の如く語つた

支那の現狀は未だに根本は排日で、停戰協定が、軍事行動に限られて居る事は無論であるが、支那側が誠意を以て停戰協定を實行に當るものならばその根本を爲して居るところの排日侮日抗日の非に就ても又自覺しなければならぬ、今や停戰協定の成立を以て日支間一切の問題が解決した如く解するは極めて早計であ、支那は由來義理なく日本をペテンにかけ日本はこの爲め嫌と言ふ程苦い經驗を嘗めさせられて來てゐる、現に停戰協定成立後は一切の排日的行爲を禁止すると看板を出して置きながら黨部をはじめ抗日團體は依然として存續し單に表面上の好意を示してゐるに過ぎない有樣である、支那側の今回の妥協的態度が日本に對する氣休め的カモフラージでないと誰が斷言し得るが、即ち日支間問題の根本が支那の抗日的行爲に在る以上之が根絕を期さなければ日支問題解決は絕對に齎らせないものであることを充分に自覺せしめるため今後支那側が協定に違反した場合は勿論些かなりとも不法行動に出んとするに於ては斷乎として膺懲の劍を振り翳す覺悟を決めてゐる

×

目下北支は稍緩和の形勢に在り、日支間の貿易も逐次復活しつゝあるが、南支殊に長江流域の排日風潮は未だ猛烈を極めて居り同方面の空氣は更に險惡化しつゝある狀態である、我軍は今や北支新政權等と云ふケチな了見にとらはれる全支那の排日根絕に向つて突進せねばならぬ重大時期であることを知ると共に、同胞の憤起を促すのである

展開された極東の新事態に就て

（下）

日支停戰協定は支那それ自體の政治的、經濟的複雜なる原因の錯交及び米國の對極東外交方針の一轉等の原因から支那軍をして自發的に停戰申込みの擧に出でしめ平津の東北地區に一つの非武裝地帶設定することゝ並びに支那軍は今後抗日の攪亂行動をなさざるものであることを主要條項として協定の調印成立を見、滿洲事變以來の日支兩國の軍事的抗爭に一段落を告げ極東新事態構成の一要素をなしてゐる

停戰交涉成立後の支那側の態度は今日迄の處廢約的行動はなく南京政府は二日の中央政務委員會臨時會議で停戰協定を批准し通電を發し又非武裝地帶には天津保安隊を入れて警備の任に當らしめんとし又學生の停戰反對等の抗日蠢動を未然に防ぐ爲學生の夏期休暇を繰り上げる等事態を惡化せぬ爲の努力を試みつゝある

他方支那の輿論界は依然停戰協定反對、抗日繼續を主張して居り、又南京政府の政務指導の重要地位にある汪精衞氏は「中央記念週」の講演に於て「停戰協定成立に對し中央は長城以北地帶を放棄して滿洲國の存在を默認せるものなりと傳ふるものもあるも斷じて然らず」とか又「協定調印は決して東北失地を意味せるものではない」等好ましからぬ言辭を弄してゐるが、これら稍ともすれば協定の精神に違反する如き言辭に對し吾々は今直ちにこれを詰問するに急であつてはならない、問題は過去二十ケ月の長期に亘つての紛爭であり彼等も亦自國民に對する面目立場もあることであるからこれを緩和整調し、支那民衆の妄想を一掃して日支關係を常態に復すの基調に立ち戻らせるだけの時間的餘裕と寛大なる態度を必要とするものである、而して南京政府が漸次に支那民衆の對日感情を轉向せしめ且つ政府自ら協定の精神を遵守するに於ては日支關係は好轉し、日支直接交涉の機會は到來し、支那をして既成事實はこれを承認せしめ、一方日本は支那の建國事業に支援を與へかくて滿洲國の建國發展と相俟つて極東政局はこゝに一大安定を見、世界平和の礎石の一つは確立される譯である

日、滿、蘇三國關係は蘇聯側に於て北滿鐵道讓渡問題を提示したことに依つて政治的意味での滿洲國承認は兎に角とし、滿洲國の事實的存在を確認し、北鐵財産整引問題並びにこれを動機とする滿洲里ポグラニーチナヤのトランヂツト閉鎖問題等の特殊的問題の介在は別として大局上は何等不安を豫想せしめない狀態にある、殊に日、滿、蘇三國間に積る種々の懸案解決に就いては駐日蘇聯大使ユレニエフ氏の外務省訪問に於て屢々表示されてゐる如く蘇聯側も懸案の速かなる解決を要望して居り、日、滿、蘇三國共同委員會の實現も近しとされてゐる、極東の新事態構成の一要素としての滿、蘇兩國の國境地方の諸懸案解決も今やその機運熟し日、滿、蘇三國の携手を豫想し得る樣な情勢が逐次展開されつゝある

顧れば滿洲事變勃發この方米國の干涉的態度、國際聯盟の乘り出し支那の暴戾に依つて極度に紊されてゐた極東政局はアメリカ政府の對極東外交政策の轉換を機として新事態を醸成するに至つた

東亞政局に於て重要地位を占めてゐる日本はこのチヤンスを巧妙に把握し對米、對支、對露關係を整調し、東亞政局の安定に邁進すべきである、而して世界不況の深度が深まれば深まるにつれて愈々尖銳化しつゝある極東市場の攻防戰に備ふべきであらう（完）

馮玉祥頻りに蘇聯入國を準備中

〔北平十三日發國通〕太原來電に依れば閻錫山は馮玉祥が近く張家口發庫倫を經て蘇聯邦に赴く準備を備へてゐるとの情報に接したと

支那側非武裝區域に檢察隊を組織

〔奉天十三日發國通〕日支停戰交涉の結果協定せる延慶、州、玉田、灤臺の線より長城に及ぶ所謂非武裝區域內には强力なる警察隊を以て治安維持に當ることは既報の如くであるが支那側は何柱國、王以哲軍を改編檢察隊を組織するものゝ如くかくては治安維持上何等の新鮮味なく依然として變形化された軍閥の駐屯に過ぎず、同地方住民は折角の樂土が再び軍閥の蹂躙するところとなる虞れありとて早くも反對の聲が高くなつて來た

馮玉祥の離察督促に 張吉榮再び張家口に向ふ

〔北平十三日發國通〕前月來黃孚、何應欽兩委員長代表及び宋哲元の三代表は張家口へ馮玉祥を訪ね、察哈爾及馮の進退問題につき折衝し、十三日歸平したので、黃、何、宋の三名は種々協議したが、大体馮としては宋の察哈爾省主席に復職することを希望し、暫く張家口を離れることに對しては、不本意らしく然るに中央では、馮が張家口を離れぬ限り察哈爾問題は解決し難しとて頻りに離察を勸誘して居り、それが爲本日午後宋は張吉榮を再び張家口に急派したが、大体離察を實行すれば中央は、何等か厚遇の道を講ずべく且その部下の將來は悉るべく約束することを以て馮を說得するものらしい

南京の行政委員會 二案を通過す

〔南京十三日發國通〕本日の行政委員會議で左の二案の通過を見た

一、北平政務整理委員會の職權範圍は僅かに、河北察哈爾二省と北平、天津二市の政務に限る

二、華北戰區救濟委員會には黃郛、于學忠、李石曾、張繼、王樹翰、宋哲元、龍炳勳、蔣夢麟等十九人を任命し黃郛を委員長に于學忠を副委員長とす

板垣少將 關東軍參謀に

奉天特務機關長陸軍少將板垣征四郎氏は今回關東軍參謀を仰せ付けられたのでこゝ數日中に舊任地奉天を出發、新京旅順、大連等各方面を訪問告別挨拶をなし本月下旬大連を出發來任する豫定であるなほ後任は目下の處未定である

その日ぐ

鈴木總裁けふ政友の內紛に裁斷を下す、果報は寢て待て

□

馮玉祥、ソ聯入りを準備中、さ化の皮のはがれた上は速に尻尾を出すに限るて

□

蒙古の若き王族、一雇員として新國家に勤務、傳統の殼を破つて

□

商業生月一度の神詣で開始、何ぞその遲かりし、されど初めざるよりはよし

人事往來

▲成澤大佐（鐵道隊長）十三日午後零時四十分南行
▲三浦鎗郎氏（吉林省總務廳長）十三日午後四時三十分南行
▲坂本中佐（憲兵隊司令部）十三日午後七時五十分歸京
▲藤原銀次郎氏（王子製紙社長）十三日午後七時五十分來京
▲伍堂理事（滿鐵）十四日午前八時來京
▲安原少將（豫備役）同上
▲熙財政部總長十四日午前八時三十分吉林へ
▲板垣少將（奉天特務機關長）十四日午前九時南行
▲堂本事務官（朝鮮總督府）同上
▲荒木章氏（新京地方事務所長）赴連中のところ十三日午後七時五十分歸京

團体

▲日本足袋會社團十二名十四日午前八時四十分ハルビンへ
▲山邑酒造視察團三十名同上
▲藤田氏歡祭團二十一名十四日午前八時來京

經濟欄

海外經濟

▲銀塊及爲替

倫敦銀塊	一九片一六分七
同還限	一九片二分一
紐育銀塊	三六仙二分一
孟買銀塊	五七留比八分七
米英爲替	四弗三仙二分一
米日爲替	二六弗二七仙
米支爲替	二七弗〇〇仙
スチール株	五五弗八分三
アナコンダ株	二七弗二分一

▲綿花

◎米綿

現物	九仙四〇
七月限	九仙三三
九月限	九仙五三
十一月限	九仙六六
一月限	九仙七三
三月限	九仙九二
五月限	十仙〇四

◎印綿

ブローチ	三六留比
ベンゴール	二三留比
オームラ	一七〇留比

▲上海票金

昨止	八九八六〇	九一三五〇
高値	八九九五〇	九一三五〇
安値	八八五三〇	九一四〇〇
本寄	九一四〇〇	九七一〇〇
步值	九一三五〇	九一八五〇
	九一六〇〇	九三〇五〇

▲上海日本向

第一回	一〇三・五〇〇
第二回	一〇三・〇〇〇
第三回	一〇三・〇〇〇

▲大連煙台向

第一回	九五・三五〇
第二回	九五・三五〇
第三回	九五・一〇〇

▲大連上海向

九六・一〇〇
九六・三五〇
九六・三五〇
九六・一五〇
九六・二〇〇

新京市況

大豆	現物	一三四七
	出來高	三〇車
高粱	出來高	二車

▲錢鈔（現物）

鈔票對金票	一〇五四八〇
大洋對金票	九九四八〇
國幣對金票	九九六六〇
大洋對鈔票	九四四二三

公告

水量不足ノ爲メ左記ニ依リ區域別時間給水實施致候間此段公告候也

新京地方事務所長　荒木章

一、中央通祝町十字路南東一帶（第一區）
祝町一部　室町　彌生町　曙町　入船町　梅ケ枝町　永樂町　老松町　八島通一部　朝日通一帶（含總領事館）
斷水時間
午前六時―七時　午前十一時―十二時　午後五時半―七時
（上記以外ハ給水時間）

二、其ノ他一般（第二區）
給水時間
午前六時―七時　午前十一時―十二時　午後五時半―七時
（上記以外ハ斷水時間）

三、期間
六月十三日ヨリ當分ノ間（水量ニ餘裕ヲ生ズル迄）

蒙古の若き王族
雇員として興安總署に勤務
傳統を破つて實務研讃に當る

興安南分省科爾沁左翼中旗和碩卓哩克圖親王賀喜業勒圖墨爾根（二二）氏は學術研究のため北平に在留中であつたが王道國家成立するや欣然歸國し前途に在つて事變後の家事整理にあたつてゐたが今回自ら進み實務を修習研讃、將來の大成を期し度いとの固き決心の下に十日來京、齊總長等の賛成を得て興安總署調査科に入り即日より執務してゐるが、氏は出入に常に十數名の從者を伴ひし傳統を一擧に破り一介の雇員として實務の研讃に當つてゐる、總署に於ても氏の英斷に對し用意周到にこれを指導、將來の大成を期してゐる

國家のため
獻身的努力をしたい
堅き決心で賀喜氏は語る

滿洲國の將來を背負つて立つべき堅き決心の下に興安總署に一雇員として執務中の卓哩克圖親王賀喜氏を同總署調査科に訪へば既に事務机に向ひ執務中であつたが、氏は溫厚なる應待の內にも冒し難い嚴肅さを以て口數も少なく、決心を語つた

私が今度こゝに參りまして調査課の一員として働く事になりましたのは別に珍らしい事だとは思ひません何故なら滿洲國就中蒙古の將來に幾分なりとも貢獻し樣と思へば先づ其土地の實情を知らねばなりませんからも特に御願ひして興安省實際のイロハから始める爲に一雇員として働く事になつたのです、皆さんの御指導に依り獻身的努力を以て唯勉强するのみです、總長を始めとし青木科長、科の皆さんが親切にして下さるので皆さんの親切に對しても一時も早く興安省の實情に通じ、微力乍ら傳統の蒙古に文化を移し蒙古發展の爲、又王道精神の徹底に役立ち度いものと堅く決心してゐます

賀喜氏の英斷は近來の快事
指導に當る青木科長は語る

賀喜氏の訓育指導に直接當る事となつた青木調査科長は欣然として語る

勿論一科員として凡てを待遇します、電話の取次、書類の送達もせねばなりません、敢て雇員として來られた處に大なる意義があり、深い會さがあると思ひます先づ興安省の事情に精通せんがための研鑽が必要ですから、各科の事務を順次やつて貰ひます、私の特に願ふ所は心身の鍛錬に努め若い時の苦勞は買つてもせよの精神に則り格勤精勵、公明、廉潔、自重、不屈、謙遜、果斷、他日興安省の要[illegible]です

今回の快擧は恐らく近代蒙古に於ける愉快な企の一つ否王爺と呼ばれる人が傳統を敢然破つて一サラリーマンとなると言ふことはこれこそ王道の眞精神に生きるものと云はねばなりません、何しろ近頃頗る欣快に堪えない事です

商業學校で
感謝感恩の神詣で

新京商業學校では八年度五つの訓練標語中にある感謝、感恩に當る行事として毎月十五日第一時間目の授業時間に全職員生徒擧つて新京神社に參拜することゝなり、明十五日その第一回參拜を行ふことゝなつた

匪首張文魁捕はる

昨年來吉林省双陽縣下を荒し廻つてゐた莊子經の率ゆる自稱吉林抗日救國軍の匪團約四百名は、その後同地に駐屯せる洮遼警備軍の爲め武裝解除解散を命ぜられたが、最近に至り同救國軍再起の計畫あるを探知した新京城內憲兵分隊では鋭意探査中の處遂に六月九日新京城外某所に於てその首魁が新京城內に潜入せんとして密行中の處を道に擁して大格闘の末逮捕した、その後嚴重取調べの末同人の自供により、凶惡なる罪情逐一判明した、即ち同人は昨年七月吉林省双陽縣に於て莊子經の率ゆる抗日救國軍の匪賊團に加入し、豪膽さを認められ、同匪軍參謀として用ひられ、双陽縣下一帶に亘り掠奪暴行至らざるなく附近良民より鬼の樣に恐れられてゐた

同人の自白によれば、昨年九月双陽縣林供泰及び王有方を襲ひ、之を人質とし、被害者一族より莫大なる金額を奪取したが、更に十月双陽縣房占先方を襲擊、同人の兄嫁を人質として拉致、之を下着一枚として兩手を天秤棒に縛し、綿に石油を注いで燒殺すると脅迫暴行せる事實もある、斯くして同人は掠奪人質等の手段で漸次資金を集め高粱繁茂期の來るのを待ち抗日救國軍を再組織すべく計畫してゐたものである、憲兵分隊では、その兇惡慘忍性に驚歎してゐるが、身柄は一件書類と共に十二日首都警察廳に送られた

木造建築がドシく
無許可で當局取締に大活動

家屋の拂底から、當局の規定を無視し且つ無許可で木造建築が續々進められてゐるため滿鐵地方事務所では數日前から木造建築中の工事を調査した處、無許可の木造建築工事中のものが百軒發見されたため直に取締方を新京署に屆出た、同署では十四日井上保安主任、中島執行主任、地方事務所から田中工事係員が嚴重な調査を行つた、百軒の內取敢へず工事の中止を命じたものは住吉町に建築中の服部組、同町濱江材木商、同町香原組であつた、當局では近くこれ等規定違反、並に無許可のものに對し取りのけ又は改築を命ずることになつた

第四水源地は廿五日に竣工
新京に五千人分を給水し
一部斷水も解かる

水飢饉の新京人に待たるゝ第四水源地の前年度持越し工事は最近漸く進捗しいよいよ來る二十五日一般に給水されることになつた、同工事は新設井戶二つで一日約千噸の湧水量を持つてゐるが、既にそのうちから四百噸が假給水されることになつてゐるので、殘り四、五百噸が此際完全に增水されるわけで、これを給水人口に當てはめると全國平均一人一日〇一噸として慾に四五千人分が增加される此の上人口の急進的激增と夏季使用水の增加によつてどの程度に一般に潤ふかは確實でないが此際多少緩和し得ることは事實で、現在の一部斷水もこれで解除されるはずである

獄中の佐野鍋山
共同被告に告ぐるの書を公開

【東京十三日發國通】獄中で轉向を聲明した佐野、鍋山の兩氏は更にコミンターンの誤謬をこき下ろした「共同被告に告ぐるの書」を配布全國六百の同志に轉向を呼びかけた

第八回彩票
頭彩は七九九八
新京と奉天に落つ

第八回北滿水災救濟彩票の抽籤は十四日午前十時から新京城內商務會で係員立會の許に嚴正に行はれた結果頭彩以下左の如く決定した、さて一萬圓の幸運者は？

頭彩	七九九八
二彩	七、二七六
三彩	一六、二七一
四彩	三五、六八〇
	八、五五〇
五彩	二四、六二七
同	一六、七九八
同	二九、六四八
同	二三、七二五
同	一九、八八五
同	一七、八九七
同	三五、八〇七
同	三六、七四一

六彩 四〇、六三五 二九、〇四二 三七、九一七 四二四九二 一七、七二三、一六〇〇 三二、二九一、三八、九九〇 四五、七八五 四〇、五二三 三五、六三一九、七一四 三四、九二六 三七、八一九 一六二〇三 九、三三六 一三七六〇 二三、三六二 三八七五 四四、九〇七 二〇、六七三 四六、九〇一 三〇、五五一 五、〇七八 一七、九六六

なほ代賣店は左の如く判明した

▲頭彩甲奉天森洋行、乙金泰洋行▲二彩甲遼陽馬[illegible]、乙吉林永合公▲三彩甲奉天榮商會、乙鐵嶺陳欣武

日滿兩巨頭を修養團顧問に
近く推戴式を擧行

滿洲修養團發團式及滿洲大會は二十五日午後二時から擧行されるはずであつたが、顧問として武藤關東軍司令官および鄭滿洲國國務總理の快諾を得たので同日同時新京高等女學校講堂（室町校を變更）においてこれが顧問推戴式を盛大に擧行されることゝなつた

講習會の豫定變更

蓮沼主幹一行を迎へて近く新京南嶺で修養團講習會を開くことになつてゐるが、最初會費八圓の豫定であつたところ在滿受講者に限つて此際六圓を本部より補助することゝし會費二圓に引下げられることゝなり、また申込締切は來る十八日に延期し新京及び近接地は地方事務所社會係で受付けることゝした

共産黨員
金永山逮捕さる

【奉天十三日發國通】南山城子三間房に於て共産黨別動機關たる農民協會を組織し、過激なる赤化宣傳及帝國主義並びに革命運動に狂奔し銃器を携行し黨の擴大强化に努める一方良民を殺害する等暴逆を逞ふした一味中の金永山（二七）を山城鎭憲兵分遣隊で去る五月六日逮捕嚴重取調中の處今回治安維持法違反により身柄を一件書類と共に奉天總領事館警察署に引渡した即ち彼の自白によれば、昭和五年八月前記三間房に於て農民協會組織されるや、その趣旨に贊成して加盟、青年部小隊長として共産主義宣傳及黨の擴大に努め同地部落各戶を訪れて之が勸誘に努めた結果五名を加盟又昭和五年八月より六年二月迄三間房に於て每月二回當地鮮人を集め共産主義宣傳、日本打倒、資本主義排斥、ソヴエート擁護の演說をなす等あらゆる手段をもつて共産主義の宣傳に暗躍を續けて居たものである

新京城內一帶に地代の値上げ
平均して一躍二倍に當る
愈々七月から實施

新京特別市政公署では首都建設事業を控へて新財源の捻出に血眼となつてゐるが、これが第一歩としてさきに無能吏員の

＝整理＝を斷行し引續き商埠地一帶に亘る地代の値上げその他について考慮中のところいよいよ地代は來る七月一日から一齊に値上されることゝなつた、右地は現在滿鐵の三分の一程度に過ぎず事變後の發展に伴ひ當然のものと見られてゐるが同公署では大馬路その他繁華街を主として繁盛の程度如何によつて合理的に値上げしやうといふので、總體で總額三萬圓足らずであつたものを

＝一躍＝二倍の六萬圓程度に引上げる意向である、なほこれと同時に從來哈大洋で納入されてゐた、家屋稅（房捐）家賃はそのまゝ國幣勘定とすることゝしたこれがため家屋稅で年額一萬八千圓、家賃で一萬二千圓、合計三萬圓が浮ぶことゝもなつてゐる

在留地徵兵受檢者の心得

新京に於ける本年度在留地徵兵檢査は既報の如く十五日午前七時三十分から西廣場尋常小學校に於て施行される、檢査當日は關東軍兵事主任步兵大佐世良孝熊氏で他に林副官、副醫官、事務員（陸軍下士官判任文官）看護長が檢査に從事せらるゝ受檢壯丁は左の諸項に注意せられたいと

一、軍司令部から示された出頭時刻の午前七時三十分は檢査開始の時刻であるので午前七時までに壯丁休憩所に集り通達書を係員に示すこと

二、通達書裏面の注意書及新京署から配付した注意書を熟讀して手ぬかりのないやう

三、幹部候補生志願のものは願書、身體一覽表、卒業又は修業證書を現役志願のものは履書及身上明細書を抽籤に加ふることなく徵集を志願するものは籤外徵集願書忘れぬやう

新京署兵事係は新京聯合分會の協力を得て十四日中に檢査の設備をなすことであるが檢査員一行も檢査用の諸器具を整備し當日は規定の時刻に直に檢査開始となるわけである

新京驛で妙齡の婦人飛降り

十三日午後十時新京發十大列車が發車するや列車中央部より妙齡の一婦人が驛拄五號附近に飛び降り倒れたので見送人雜踏の折柄とて非常な混雜を呈したが取調べの結果右は鮮人王張氏（二二）で切符を所持せず、飛降の際後頭部に長さ一寸五分に亘る裂傷を負ふた

匪賊改編の黑省各縣警備隊
續々匪賊に逆戻り

【チチハル十三日發國通】黑龍江省各縣の警備隊（匪賊を改編）の匪賊化は最も注意されて居るところであるが八日洮昂線、泰來縣公安隊、中隊長何應年は部下十七名を迎れ機關銃二十七、彈藥四千發を携帶逃走、匪賊となつた、各地でも斯かる事態續出する形勢である

小西總長粟屋次官等と會見
紛擾問題轉好を見ん

【東京十三日發國通】京大問題で小西總長は昨午後三時文相官邸で粟屋文部次官等文部省側と會見したが瀧川教授の復職に觸れず、主として京大紛擾の處置方法、大學の使命職員の任命權問題を協議した模樣で、其結果一道の光明を發見し十四日午前十時更に協議する筈である

佐野、鍋山の轉向に
高橋、中尾兩法廷委員も共鳴

【東京十三日發國通】佐野鍋山兩名の思想轉向は、今や各方面に一大センセーションを捲き起してゐるが、司法當局では、此の聲明を重大視して去る八日聲明書の要綱を獄內共産黨被告に夫々讀み聞かせたが、全國五十餘ケ所の刑務所に收容中の共産黨被告九百名（昨年十月檢擧以前の者のみ）に對しては、十日附の各新聞紙に掲載された聲明書を教悔師をして各被告に讀み聞かせる樣通牒を發した、尚共産黨首腦部の高橋貞樹、中尾勝男兩法廷委員は佐野、鍋山兩名の聲明書に共鳴して早くも思想轉向の機運が濃厚となつて來た

伊東權吉氏義父

滿鐵新京地方事務所勸業係長伊東權吉氏義父染谷九郎氏は伊東氏方に寄寓中十三日午後十一時心臟麻痺で逝去した、享年七十歳、葬儀は十五日午後四時祝町西本願寺で執行される

ラジオ欄

十五日（木）新京

奉天後四、〇〇　レコード
新京後四、三〇　相場　商業通信社
同　後五、〇〇　演藝
同　後…、三〇　時事解說　ニュース
（經濟語）東京後六、〇〇　ニュース　東京中央放送局編輯
新京後六、二〇　演藝又ハ講演
同　後七、〇〇　ニュース
（英語）同　後七、一〇　ニュース
（露西亞語）同　後七、二〇　ニュース
（朝鮮語）同　後七、三〇　ニュース　氣象豫報、放送局編輯及プログラム豫告
同　後八、〇〇　演藝
東京後八、三〇　時報
同　後八、三一　ニュース　東京中央放送局編輯

幕末異聞
愛慾火箭
瀧川駿 作
村瀬洗舟 畫
（上演上映禁）
（八十四）

天城越え（四）

ナヽカモの木の梢の斷れた所。それは何十丈とも底の知れない谷に面した斷崖だつた。

薄暗がりの密林の中を、足探りに歩いてゐた與四郎は急に、背後で、お要の叫ぶ聲を聞いた。

『おや？』

と思つた瞬間、足を辷らして その斷崖から轉げ墜ちた。

密林の中に、顔を出した二人、それは馬方の源六と、山越人足の權助だつた。

『しめた！』

後から躍り掛つた山人足、横手の立木の小枝を折ると、それに立て掛けてあつた大きな枯木がトンと お要の背の上に落ちて、油搾りの閂の形と成つた 文字通りに締られた。それは熊捕縛だつた。

『へ、、、』

薄氣味惡い笑ひ聲を立てながら、源六と權助がお要に近づいた。

『早く起しておくれでないか』

熊捕縛に懸つたお要は、壓しつけられて苦しさうに、藻掻きながら言つた。

『へ、、、此處まで連れ込むにや骨を折らしやがつた——』

『ふゝゝ』

權助の憎しさうな顔を見て、思はず源六の鼻は鳴つた。

『ぢやあ權、おいら谷間の奴を見て來るから、おいらにも後で御馳走をしてくんねえよ』

『うむ、その代りに谷底の胴は山だぜ？』

『そいつの胴もづつしり重さうだなア……？』

『そりや餘慾だ』

『慾張るねえ』

『はゝゝ』

笑ひを殘して、源六は蔦を傳つて谷底へ下つて行つた。後に權助、お要の顔を見てニヤリ。

『おい姐さん、一寸は痛からうが、今に極樂を見せて上げるから待つて居ねえ』

『何を言やがるんだ、お前達の自由になつて溜るもんか』

身體の自由は利かなくとも、お要の口は達者であつた。

『まあ、さう威張りなさるな、その足を取つたのは山葛の掛け罠だ。今落したのが押へ木だ。人間ぢやア熊捕縛の仕掛けだよ。金輪際逃げられねえ。さ！先刻お前が、おいらの腕を捻上げてさんざ〳〵御託を聞かしやがつたから、その腹癒せに、思ふさま此處で油を搾るから覺悟しなよ。そればかりぢやねえ、その行が濟んだら山の奴等に一廻りお前さんの身體を振舞ふんだ。へえ何とか言ひねえ。おいらア山人足ぢやねえ。穴熊と言やア天城越ぢやア鳴り響いた、悪黨の親玉だ。まづおいらの言ふ事を聽きねえ……』

『何をしやがるんだい！』

『さう藻掻きなさるねえ。さうだの臺詞ぢやねえが、人里離れた深山の中だ、幾ら叫んでも呼んでも人の來る氣遣ひはねえ。たかゞ來たところで、猪か熊だ。へえどん なもので御座んす……』

權助は落着いたもので、懐から煙管を取り出して、莨をつめた。

火打石の音が、靜けさを破つてナヽカモの間を傳つた。

數十丈と知れない谷底で、轟となる音がした。多分溪流のせゝらぎであらう。

『どうれ、御接伴に預かるかな。へえ、年増盛りだ聽かねえな』

『何をしやがるんだえ？』

怒りを含んで、お要は怒鳴る。

『ゝゝゝゝ女郎だな、靜かにしろい。今に穴熊の權助様が可愛がつてやらア』

斯う言つて、お要の口を古手拭で猿轡を嵌め、抱き起した。

西日がきつうお要の白い頸を射て、その濃さが一入度を増し權助の劣情をそゝる。權助は嬉しさうに、にやり笑みを浮べた。

六月十五日（舊五月廿三日） 木曜 壬子 先負 破 奎宿

●一白の人 求めずとも利潤自から湧き出づて幸運の日 辰と未と寅が吉
●二黒の人 心に期したる事は猶豫なく計畫するに吉し 乙と丙と丁が吉
●三碧の人 當て事と何とやも兎角外れ勝ちの日病注意 未と申と癸が吉
●四綠の人 人を强ひず我も强ひられず寛のあるが吉し 未と壬と寅が吉
●五黄の人 障碍を物ともせず勇奮して寸前尺進すべし 甲と丁と辛が吉
●六白の人 骨は折るとも撓まず進め次第に亨通する日 丁と亥と寅が吉
●七赤の人 斷崖の細道を夜歩きする如し足元注意肝要 乙と戌と寅が吉
●八白の人 辛苦の果ての朗かさを見るが如し總事に吉 甲と庚と戌が吉
●九紫の人 人の爲めに迷惑を受くる事あり世事事に凶 丙と丁と亥が吉

南滿線 南行 大連 周水子 金州 普蘭店 瓦房店 熊岳城 蓋平 大石橋 海城 湯崗子 鞍山 遼陽 蘇家屯 奉天到 奉天發 鐵嶺 開原 昌圖 四平街 公主嶺 范家屯 長春到

新京日日新聞

發行所 新京日日新聞社

經濟會議の前途に米國內に悲觀の聲

空漠な妥協的文字は無駄

出淵大使の報告

〔東京十四日發國通〕經濟會議の前途に關し米國內では朝野方面に於て早くも悲觀論が行はれてゐる旨、十三日出淵大使より外務省に報告があつたがその內容は次の如し

今次の經濟會議に關しては過去二ケ月間に亘り華府で豫備會商が行はれた際には米國側では實質以上に重要視し其成行を比較的樂觀してゐたが會議がロンドンに移され、米國議會が戰債及び關稅處理に關する權限を大統領に附與することを困難とするに至つた情勢から、假に會議の前途が悲觀視されるに至つた、米國政府部內で經濟問題に關聯して重きをなしてゐる、モーレー氏の如きも最近に至り世界經濟不況を打開のためには國際的協同策によらんとする考へは誤りである、經濟不況打開問題は大部分國內的のものなる故、國內施設を爲す事により目的を達成し得べきものとの失望せる意見を發表し、各新聞も一齊に今次の會議に期待すべからざるべき旨を論說

其他 掲載してゐる、米國朝野の今回の會議に對し希望する仕事としては、英米通貨の事實上の安定及外國爲替取引の制限緩和等に過ぎざるべく、國情を異にする六十六ケ國が相會して將來を拘束するが如き事項を決定するは不可能であ、經濟會議は軍縮會議とは異なり全會一致によらざれば效なしと云ふのではないが、徒らに空漠な妥協的文字を含む決議をなすも從來の會議と同樣實行なきものに終るべく、何れにしても戰債並に關稅の二大問題に就き米國側より何等の提供するものを有せずしてロンドンに赴けるハル米國代表以下の米國代表部は困難なる立場に立たされるだらうと各方面から寧ろ同情されてゐる

關稅休戰協定案は

一、二年間有効の條約とせん

米國側の腹案決定

〔東京十四日發國通〕經濟會議代表部發外務省に達した公電によれば會議劈頭の議題と見られて居る關稅休戰協定案に、アメリカ側では一ケ年か二ケ年間有效の長期關稅休戰協定に擴張強化し、條約化せんと提議する方針に內定したさ

米國案に對する帝國政府對案

外務省から訓電

〔東京十四日發國通〕アメリカ側より關稅休戰條約案が提出されるは確實だが、右形式其他不明のため具体的對策は未決定なるも、左の方針にて審議するやう外務當局は石井全權に訓電を發する筈である

一、帝國政府は各國が無留保にて參加するやうな形式內容の關稅休戰條約案を得るやうに努力する

一、已むを得ねば關稅休戰の留保事項として加盟國及他の國が關稅休戰の趣旨に反する行爲ある時は帝國政府は報復的措置を講ずる權利を留保する旨要求せよ

戰債問題で

米國と債務國對立か

北歐經濟ブロツク形成の運氣

〔ロンドン十三日發國通〕經濟會議劈頭マツク議長が戰債問題解決の必要を力說したのに引續き、本日はイタリー、南阿兩國首席代表が何れも之と同一の意見を表明し、早くも米國と戰債債務諸國との對立關係が白日の下に曝され、會議の前途に悲觀の見透しを懷かれるに至つた、此時に當りスカンジナビヤ諸國ベルギー、オランダ、ルクセンブルグ等の諸國が會議失敗の曉に備へ獨自の政策を以つて一丸とした一つの經濟ブロツクを形成し、世界經濟界から孤立した安全な經濟單位を確立せんとする準備をなしてゐることが判明し、會議の見透しは更に陰鬱となつた

四面楚歌の米國

〔ロンドン十三日發國通〕經濟會議でマツク議長は劈頭戰債問題討議の必要を力說し之に和して獨、伊、南阿等の代表が世界不況打開策には、戰債問題を解決すべしと力說米

る、十四日の本會議でオーストリヤ首相ドルフス氏、英藏相チエンバーレン氏、ベルギー外相イーマンス氏、ソビエト外務人民委員リトビノフ氏の演說ある筈でアメリカのハル長官は十五日を以て支拂期に迫る對米戰債年賦金に關する英國の意向が表明されるのを待つてゐる事は明白だが、四面楚歌にある米國の態度は注目の的となつてゐる

經濟會議第二日 本會議を開催

米代表の演說は十四日に延期

〔ロンドン十三日發國通〕經濟會議第二日は午前、午後に亘り本會議開催、佛、伊、南阿、日、獨、キユーバ等各國代表の演說あり佛代表ダラデイエ首相は世界に瀰る三千萬の失業群を救出する爲一大公共事業を起せと提唱、又一週四十時間勞働制を提議したイタリー代表ユング藏相は戰債問題解決の必要を絕叫、ドイツ代表ノイラート氏は先づドイツを救へと苦難を訴へたアメリカ代表ハル國務長官の演說は十四日に延期された

日印通商交涉 代表派遣の件

紡聯常任委員會で拒絕

〔大阪十四日發國通〕紡績聯合會常任委員會は日印直接交涉に對し代表を派遣するや否やに就き協議の結果拒絕することに滿場一致で決定した

西明寺屯金鑛 採算疑し

〔大連十四日發國通〕大連市榮町昭和鑛業所員松井武彥氏は營關店管內西明寺屯附近の鑛山踏査中金鑛を發見し二十三、二十四、二十五の三日間に亘り同所主任山崎長七氏は關東廳秋吉技師と共に現場に赴き調査の結果、鑛山は西明寺屯、派出所西北方西大山屯西明寺屯、石槽屯、大鎮屯、大李家屯の各部落に亘る三百四十二萬二千九百四十二坪の廣大なものであるが鑛石の品位は十萬分の三乃至五と云ふ極めて貧鑛で當事者は大連に精鍊所を設置すると云つてゐるが採算疑はしく重視されてゐない

赤十字病院 ハルビンに進出

〔ハルビン十四日發國通〕赤十字病院の開設に就ては曩に中川社長來哈し色々調査研究中だつたが來る昭和十年度より工費百五十萬圓を以て工事に着手する事となつたが其間特別區管理局の第一醫院を引受け來る七月一日より現奉天醫大院長山口清氏を醫院長として開業することとなつた右出現の上はハルビン市民四十五萬は從來の醫療難から救はれる譯である

創立一週年を迎へる滿洲中央銀行

開行一年にして滿洲國金融界に不動の基礎を確立す

滿洲國中央銀行は十五日を以て創立一週年を迎へることゝなつた、同行が昨年六月十五日舊四行を

=併合=

して建國日尚淺く混沌たる滿洲金融界に乘り出し、開行僅か一個年の短時日間に最も困難とされて居る幣制統一、通貨價値の安定、舊紙幣の回收等の大事業を完成の域に達せしめ、名實ともに滿洲中央銀行として不動の基礎を確立したのは偉大なる功績であらねばならない。中銀は資本金三千萬圓（拂込七百五十萬圓）で六月十日現在紙幣發行高一億二千萬圓、發行準備高七千五百四十萬圓、貸出一億二千五百萬圓で舊紙幣の回收も順調に進捗して引繼舊紙幣一億四千二百萬圓に對し約五割五分に相當する七千八百萬圓を回收、國內爲替取組高も大同二年度上半期に於いて二億圓を突破するものと豫想され、本期の營業成績も非常に好成績で、上半期配當も前期同樣六分配は確實と見られて居るが

=今後=

安定された通貨軌道に據り積極的活動期に入る中銀の活躍は各方面より期待されて居る

天津租界內の

支那商には課稅相成らぬ

天津佛租界當局嚴達

〔天津十四日發國通〕當地支那側では漢口の例に做つて各國租界の支那商店に營業稅を課せんとし、既に發布して强制徵收を行はんとしつゝあるに對し佛租界では之に反對し昨十三日租界內各商店に向つて本租界內に支那側の稅金を課することは許さない、若し支那徵稅局が稅金を脅迫徵收に來た時は直ちに工部局に電話で通知せよ、と嚴達した

熱河山岳地帶に大討伐決行

〔奉天十四日發國通〕熱河討伐後我軍の急追に支離滅裂となつた僞勇軍及敗殘兵は最近興隆綏中方面を窺ひ熱河省境を脅かし治安を攪亂しつゝあるので高梁繁茂期前に禍根を一掃すべく當局協議の結果、徹底的討伐を決行することゝなり警察隊、騎兵隊、自衛團及び空軍よりなる聯合掃匪隊を組織して近く愈々興城綏中方面より熱河省境山岳地帶の匪賊を根絕すべく一齊に討伐を開始することゝなつた

趙欣伯氏の渡日

近く閣議で正式決定

本月末ごろ出發せん

滿洲國憲法制定調査特使として立法院長趙欣伯氏の渡日の件は兩三日中に開かれる臨時閣議に於て正式決定を見る事となつたが、出發時期の本月末、滯日期間は三ケ月の豫定である

自主獨往と肚は極つてゐるよ

鈴木總裁三長老と會見後語る

〔東京十四日發國通〕政友三長老は昨日午後四時鈴木總裁を訪問して、總裁留守中急進自重派が抗爭したので留守中調停し裁斷を總裁に一任となつたと報告し、速かに裁斷するを要求した、會見後鈴木總裁左の如く語る

別に註文はなかつたが自重派の覺書中に總裁の裁斷を待つとて無條件一任となつて居ぬがと訊ねたところ惡意に解すれば裁斷後更に事を起すとも考へられるが、吾等は左樣思はぬと云ふことだつた、急進派では裁斷後閣僚が引揚げねば事を起す樣な形勢らしいが俺の肚はもう極つてゐる、現內閣と責任を分擔し來つたが自主獨往で行く、閣僚問題には言及せぬ、其點に就き質問あれば答辯の用意あり

鈴木總裁の斷案內容

〔東京十四日發國通〕鈴木政友會總裁は十四日午後二時から本部に開かれる幹部會に總裁斷案を提示し、次で常議員會並に議員總會に報告して茲に黨議を決することになつたが斷案內容は大体左の如し

齋藤內閣既往の實績に徵し我黨は現內閣の施設に對し共同責任を分擔せず獨自の立場に於て國家本位、政策本位を以て勇往邁進すべし

世界經濟會議を前に（三）

二、日本の立場

經濟會議の日本に對する意義は會議の中に或は會議の後にその發展を續けつつ展開を見せるであらう、極東市場を中心とさせる太平洋時代の出現をこの會議が如何に準備するかに在る

英、米、佛の協調條約及五月十六日のルーズヴエルト宣言も英國の四國協定一般軍縮提案と相呼應してフランスを懷柔しドイツを牽制せんとするものなることは急迫せる歐洲の現狀並に之と不可分の關係に在る國內經濟恐慌克服に懸命となれるアメリカ政府の現狀より見て想像に難くはない此の觀測にして誤りなしとせば、ルーズヴエルト、石井會商においてアメリカ政府が著しく妥協的に出で、日米會商が政治的にも經濟的にも想像以上の成功なりと傳へられているのには充分の根據があると云はねばならぬ、少くともスチムソン、ドクトリンの如き露骨な極東への關心は歐洲並に自國內の經濟問題の爲に忘却の形なることは事實であらう、然しだからと云つて米國が極東への經濟的關心を抛棄したものとするは恐らくは早計であらう

現在潛在的に存在するアメリカの極東への關心は歐洲を目ざした大統領の宣言の目的即ち經濟會議の目的の成、不成と其の推移の中に良かれ惡しかれ顯在化し行くものと見なければならぬ

然かも歐洲の形勢はシヤハト獨逸國立銀行總裁のモラトリアム宣言一般軍縮會議の停頓骨拔きの四國協定等々獨、佛、伊、英の諸對立をめぐつて容易に樂觀を許さず、ルーズヴエルト大統領は卅一日出帆のハル、ピツトマン、マクレーノルズ、コツクス四全權に經濟鎖國を仄かし歐洲指導に努めよと訓令したと傳へられるが一方、ワシントン、ポスト、サンデー、スターの兩米有力新聞は軍縮經濟兩會議とも成功に覺束ないと悲觀論を唱へ米大統領もこれらの國際會議が不成功に終ることを豫想して米國建艦計畫、經濟的獨立を計る各種の事業を準備しつつあることを指摘して居るのである

ヨーロツパ問題の紛糾といふことも自体既にヨーロツパの縮地化、太平洋への世界舞臺の轉回を意味して居る、太平洋時代の立役者は云ふまでもなく、兩米大陸ブロツクに據る合衆國聯盟外交に依つてヨーロツパを把持しつつアメリカと取引し他方オツタワ協定に立籠つて世界的に兩米ブロツクと爭覇する大英ブロツク、及び太平洋に絕好の政治地理的地歩を占める日滿經濟ブロツクである

ワシントンに於ける石井、ルーズヴエルト會商は日米の接近を齎した、然し眞の大問題はロンドンの日英交涉である關稅比率も關稅も早くも白熱的對立を豫想され此の方が重大視されると大每紙（五、三〇）は報じてゐる、日印商條約破棄、關稅休戰よりの日本品の除外主張、日英通商條約破棄にまで及ばんとする血迷へる主張等々は、客觀狀勢に即して唯一つ自國の利益を擁護して轉回する老獪な英國外交に對する吾人の壯觀を要求するものだ、日支紛爭に對する聯盟會議に於て米國は事實上の大けさなそれで案外拙劣な主動者であつたらう、然し外交的には、最後までキヤスティング、ボートを掴つて會議を支配したのは英國ではなかつたか

うだる様な暑さで扇風機の申込殺到
三百台を越えやうといふ豪勢
涼を需める新京人

灼熱的の暑さが襲つて來た、水銀はぐん／＼と遠慮なく昇りアスハルトは解けること數日間の新京は全くの

『眞夏』である、土地に馴れない、内地から押寄せて來た人々にはこらへきれない程の暑さである、防寒設備の家屋には暑さを凌ぐだけの完全な設備がなく、室内にあつても全く火を吐くやうな思ひである、この苦惱を切り抜けるべく市内の電氣商會では先を競つて扇風機の販賣に懸命となつてゐる、今滿電扇風機販賣係の話を聞くと本年の

『需要』は非常に多く、六月一日から十二日迄に既に百台を越へ、昨年の總賣出し數に比することは殆ど同率を示してゐる

今年の賣出豫想は三百台とみられてゐる、同社の販賣品は川北、芝浦の兩社製作である、値段はいづれも同樣で、昨年よりか約一割の高値で十二吋（四十ワット）二十七圓、十六吋（六十ワット）三十八圓、取付け工事費は無料（特別の場合需要家持）一時需の使用電力費は十二吋二厘、十六吋四厘である、一般家庭向は十二吋で、この

『風量』は八疊迄又十六吋は事務室ホール用とされてゐる今新京の各商店で賣出されてゐる、式はいづれ遊動式で風の音は低く風量は多く一般に使用されてゐる

滿洲國の實狀紹介の爲
ブロンソン、レー氏を米國へ

過般ジユネーヴで滿洲國のため活躍したジョージ・ブロンソン、レー氏並にアーサー・フランシス、エドワード氏は目下東京に滯在中であるが、近く歸滿の上滿洲國の實狀調査を行つた後、再びブロンソン、レー氏は米國方面へ、エドワード氏は歐洲大陸方面へ滿洲國の實狀紹介のため派遣されることとなつた

新京の料亭を券番制度に改める
永樂町一丁目から梅ケ枝町を新料理屋地帶にする

從來新京の料理屋地帶は富士町二丁目から吉野町二丁目東一條から同三條の二帶であつたが、今回この地帶とかけ離れ新京の新商店街に接續して一大料理屋地域が定められることになつた、同地帶は永樂町一丁目から梅ケ枝町一丁目の大通に面しない地帶で料亭の組織は檢番制度として純内地式の料理屋且つ待合を設け、營業は今秋からの豫定である、この第一回打合せは十五日地方事務所で地方委員會並に警察署から井上保安主任出席し行ふことになつた、目下の處料理店五軒待合三軒である

高女生の郷土研究
時勢の推移を目標に

新京高等女學校では既報の如く五年生の郷土研究の爲森下教諭指導の任に當り各生徒を督勵して實施してゐるが十四日は水源地郵便局を調査した

興安省北分省の統治方針確立

興安省各分省旗區域は當局必死の努力により治安、行財政各方面とも漸次改善され特に東西南三省は殆んど理想的なる發展過程を辿りつつあるが北分省についても總署に於てこの程施政の具体案について成案を得たので近く法制局に廻附審議の上敎令を以て公布される筈で、同分省地域内の改善も極めて近き將來に期待されることとなつた、統治方針につき確聞するに先づ旗區域を地理的財政的、其多諸種の事情より見て改廢を斷行するもので即ち現在の索倫左右兩旗を一旗に、新巴爾虎左右兩旗は現在の儘とし、鄂倫春布里雅特、鄂魯特、陳巴爾虎四旗を一旗に合併し全區域を四旗となし統治に便する、尚行政、交通、産業上特に重要地點たるハイラルには特別なる制度が布かれるものと觀測される

僞勇軍總司令朱齊青凌南に潜入

某所に達した情報によれば熱河討伐前錦外僞勇軍、兵匪の操縦に當つてゐた僞勇軍總司令朱齊青はその後日滿兩軍の急追を逃れて凌南縣蕭家店（錦西北方）の一部落に潜伏し、舊部下五百を糾合、迫擊砲自動火器等を所有し機を見て義縣、醫山方面を襲擊せんとしてゐるので同地日滿警備隊は嚴重警戒中である

工兵隊、派遣兵
けさ來京あす北行

十五日午後三時三十五分新京驛着列車で工兵第○○隊員○○名、第○○○團派遣兵○○名同七時五分着列車で工兵第○○隊○○名來京（新京一泊）工兵隊は相合し午前十時五十五分發列車で北行、派遣兵のうち○○名は八時四十分發列車で北行、殘餘○○名は八時三十分發で吉敦線で東行す

城内の電話もますます拂底
附屬地との連絡を豫想し
引張り凧の盛況

新京附屬地に於ける電話の拂底さとともに城内の電話も近頃素晴らしい景氣をつゞけてゐる、殊に日滿合辦電話電信會社の

『創立』によつて附屬地と城内の電話が完全に連絡されれば現在の相場百五十圓程度が一躍數倍にも上らふといふので早くも滿人間にも凄じい電話爭奪戰が演ぜられてゐる、それでなくとも城内の電話は附屬地のそれに較べてお話にならぬ格安であり日本人側でも滿洲國官廳出入の商人などはせめて城内だけの電話でも手に入れたいと新京電報電話局へお百度を踏む者も尠くないが、事變前なら兎もかく近頃では全部四百個の交換設備が九十七、八パーセントまで使され餘剰とてなく新規

『増設』せぬ限り絶對皆無といふ状況であり、電信電話會社が來る九月正式に開業されるまでは新規事業は一切見合せことになつてゐるので、こゝでも電話難はますます加重されて來るわけである

通信交換激增
城内局の調べ

滿洲國建國とともに滿人側の通信交換も素晴らしい活況を呈してゐるが城内電報電話局五月中の電信電話の取扱高を調べて見ると

△有線電話

一、局内着信　五四五通
同　發信　五六四通
一、中繼信　六五四通
一、公報（事務局用）　一、七八九通
一、外國電報　着信　三〇四通　發信　二七一通

△無線電信

一、滿洲國官廳相互の日本文官報　着信八九通
電信　二〇九通
一、一般公報着信　一一二　發信　九四

なほ電話は市外電話の着通千百七十六通話、發通千百七十六通話に達し、ハルビン、吉林への話がその三分の二を占めてゐる

愛婦新京支部
二十二日に發會式
本野會長も出席

聯合婦人會を中心として新京に愛國婦人會支部を設立すべく企ては着々と準備進み、いよいよ來る二十二日を期し新京高等女學校講堂で東京から臨席の本野會長を迎へ盛大な發會式を舉行することに決定したから入會希望の向は來る十七日迄に聯合婦人會幹部の誰にでも申込まれたいと、因に本野會長始め發會式列席の一行は二十一日着の（はと）で來京に決定してゐる、尚發會式當日の服裝は是非紋服でなくてはならぬなど固苦しいことではなく各人の自由に任せることとなつてゐると

無錢乘車で
車掌と南方兵大喧嘩

（北平十三日發國通）戰局急迫の際北平城内は支那兵の自由出入を禁じてゐたところ停戰協定成立と共に所謂抗日軍將士の城内出入を許した結果雨傘を背負つた南方兵共が多數入込み、各所で滿人をいぢめて居たが十三日遂に大事件を惹き起した、今朝八時西長安街の電車停留場で數人の兵士が電車の無錢乘車をせんとし車掌と衝突、車掌が殴打されるや南方兵の横暴に憤慨してゐた乘客と通行人が兵士に喰つてかゝりこれを見て附近をブラついてゐた南方兵數十名が馳せつけ俄然南方人と大喧嘩が始まり多數の巡警が出動してやつと鎮壓したが、車掌側では南方兵の横暴を取締らなくては電車を動かさぬと決議し、罷業を開始した

西廣場六年生吉林見學

西廣場小學校では六年生兒童の修學旅行を哈爾賓迄行くべく豫てより本社へ申請中であつたが、社外線故に旅發の關係上却下されたので吉林へ變更し、十三日午前八時半發列車で七十九名の兒童は四方稲島兩訓導に引率されて出發したが十四日午後四時半一同元氣に歸京した

移動式に交通取締り

交通事故頻發にともなひ新京署保安係では十四日午後一時から同三時半に亘つて内田警部補はオートバイで移動的交通取締、並に道路使用取締をなした、網にかゝつたものは自動車五台、自轉車五台である、これ等自轉車の違反はいづれも車体檢査を受けないもの、又自轉車は、舊番號を依然使用してゐるもの、又は甚しいのにたると附屬地内で營業をしておりながら、無理に滿洲國首都警察總監で試運轉證明書を下附され運轉を續けてゐるもの等で嚴重處罰することになつた、又道路の使用違反者三十余名に對しては注意をなした

松竹座レヴューガールのストライキ

（東京十四日發國通）淺草松竹座のレヴュー、ガール水の江瀧子、西條えり子以下五十余名は樂劇部長排斥並に待遇改善問題で昨十三日正午からストライキを開始した

二十二日は夏・至・です
一年中で一番日中が長く夜が短い日です

けふから一週間經つて二十二日が暦の夏至である、夏至を中心に前三日、後二日が一年中で一番日が永い時である、十五日から二十四日まで晝が十四時間と三十五分、夜が九時間と二十五分で、二十五日から三日目に一分くらひの割で今度は日が短かい方へ向ふのであるが七月の二日が半夏生、七日が小暑、二十日が土用の入り二十三日が大暑といふやうにいよいよ暑さも本格的になつて行く

自動車運轉手續々流れ込む
滿洲國を目指して
五月の受驗者百二十名突破

（大連十四日發國通）自動車時代の滿洲を目がけて最近運轉手の來滿は物凄い勢で東京大阪の中心都會を筆頭として福岡邊りからも「内地は不景氣で駄目です」と運轉手君が續々とやつて來る、そして先づ滿洲に於ける免狀をと、滿洲國の玄關たる大連署で毎月一回の試驗を受けるのであるが、五月の受驗者は實に百二十一名で昨年の平均三、四十名に比して約三倍といふ有樣で、今年に入つてからどしどし増加する一方で、月平均七十名見當の處、去る四日は百七名で、そのレコードを破つたが五月は又右の如く素晴しい數字で係員は驚愕してゐる

南米遠征陸上選手決定

（東京十四日發國通）南米遠征陸上競技代表選手一行の陣容は十三日陸上聯盟から左の通り發表された

監督兼選手　福井行雄
同　住吉耕作（早大）
選手　大島（關大）
同　藤枝（關大）
同　大江（慶大）
同　朝隈（學習院）

一行は六月廿日横濱出帆の洛陽丸で出發することになつた

新京驛貨物扱所の增設で貨物取扱圓滑とならん

國都建設諸材料殺到の新京驛は從來の東扱所だけでは到底處理困難なる爲め本年始めより、その應急的施設として機關區と飛行場との間に西扱所の設備增築中の處、この程漸く設備成り愈々去る十二日より石材及煉瓦の取扱を開始した、これによつて今までの幾多の不便が除去され今後國都建設の進捗は著しく圓滑且促進を見ることとなつた

米粒に百人一首を認めて武藤元帥に
極細文字の揮毫家來滿

（奉天十三日發國通）十三日午前世界的とも云ふべき極細文字の揮毫家東京市城東區龜井戸町田中清一郎（二八）が新京より來奉した、氏は今般武藤司令官へ自己の手になる米粒へ百人一首の作品を贈呈の目的で赴京したもので、同時に前線の將兵へも米粒へ（南無阿彌陀佛）と揮毫したもの五百をお守りとして寄贈した

北覇天の屍體を發見

（奉天十四日發國通）既報熱河省より再び奉天省内に移動し來つた迫擊砲、重機關銃、手榴彈等の新兵器を携行する老北風の覆面匪團五百は、北鎭縣より臺安縣下に向ふ途中九日午後七時頃黒山縣七臺子桑林子間で邦人二名を捕へ其中一名を其場で慘殺一名を人質として拉致した其後右匪團は双臺子河を渡河して根據地たる盤城縣第六區盤山縣境に侵入した之を知つた奉天警備軍では該匪賊團討伐に向ひ、同軍は双臺子以南地區にて同匪賊團を完全に包圍、十三日未明一齊に猛擊を加へ、之に殲滅的打擊を與へたが、敵は死体百數十を遺棄し東方の山地に逃走した

戰場搜査の結果、死體中には昨年營口にてアジア石油社員英人コクラン、ボーレイ夫人の二名を拉致した北覇天の死體が發見された

いよいよ今日は清潔デーです
市民の心懸けが第一

今日十五日は豫て定められた清潔デーである、一般市民は自他のためいろいろの不潔による傳染病豫防に努める義務があるが、新京は傳染病の多く出來るので全滿第一の折紙つきである、この不名譽からのがれるには市民の協力一致に俟たねばならぬ、數日前から赤痢が頭を擡げたと傳へられるから大に戒心の要がある

世界少年團大會へ
小尾範治氏出發

（東京十四日發國通）ブダペストに開催される世界少年團大會出席の日本代表の青年教育課長小尾範治氏等は十三日午後八時東京驛を出發した

赤系ロ人經營の煙草工場にストライキ

（奉天十三日發國通）市内松島町三十五番地赤系ロ人プロフスキー經營の中央煙草公司滿人女工六十名は突如ストライキを斷行し紅梅町派出所に詰かけ一時は大騷ぎを演じたが、急報に依り現場に馳けつけた署員の調停に依り漸く事なきを得、午後よりは平常の通り就業した、原因は滿人監督が一女工を馘首せんとした事より全女工の激昂を買つたものであると

さゝやき

▲精養軒のトシ子毎日一回は○○さんに電話してお聲なりとも耳にせねば其の夜がねむれぬといふ奇病にかゝつてゐるさうだ、その幸福な○○さんとはそも誰？

▲こゝのタエ子先日誰にか差出すべき一封書を手にして玄關口で右往左往してゐたが遂に意を決して投函した模樣であるが、その封書は果して何處へ、新京か、それとも東京か？他人樣にはわからない

▲三笠のカツミ未だ處女らしいはにかみやだが、どうして／＼立派なお人が御座る先日なぞは早朝から裏口でお馬に乘つた偉いお方と？人は見かけによらぬもの

▲泰東の小大某社の○○さんと風雲急を告げ兩軍互に對陣して今にも激戰が勃發せん危き雲行であつたが、遂に小大軍は仲居の軍使を派して停戰協定を申出たので○○さんもそれではと鉾尖を收め其の夜は昔にかへつてお互にイチャイチャ喧嘩の巻これでワンラ

吉凶禍福

△新京吉野町一丁目二一松尾計憲氏二女千鶴子さん、八日出生

△新京吉野町一丁目一三石川新一郎氏三男東雄さん、七日出生

△新京曙町二丁目一二末吉幸子さん、十二日午後三時死去

記事訂正

十四日夕刊所報奉天特務機關長坂垣少將が關東軍參謀にとあるは參謀本部附を仰せつけられたる誤りにつき訂正

天氣と氣溫

けふの天氣北東の風曇り驟雨模樣、十四日の氣溫最高三十七、最低十六度四

公布されたる 暫行商租權登記法

第一條 商租權の得喪變更は本法に依り登記を爲すに非されは之を以て第三者に對抗することを得す

第二條 前條の登記に付ては本法に規定するものを除くの外不動産の登記に關する法令を準用す

第三條 不動産登記官署は別に商租權登記に關する簿册を備付くることを要す

第四條 商租權の設定又は移轉の登記を申請する場合に於ては申請書に不動産の登記に關する法令に定むる事項の外左記の事項を記載すへし

一、商租期間

二、無條件更新の約定の有無

三、商租價及其支拂方法

第五條 商租契約に付き商租期間滿了するも無條件にて之を更新することを得る旨の約定ある場合に限り商租權者單獨にて商租期間延長の登記を申請することを得

第六條 商租權の設定又は移轉の登記を申請するときは商租權の價値の千分の五の登記費を納入することを要す

第七條 本法施行に關する細則は司法部總長之を定む

附　則

第八條 本法の施行期日は司法部總長之を定む

第九條 本法施行前取得したる商租權に關する登記は登記義務者所在不明なるか又は其他已むを得さる事情に因り登記義務者か登記に協力することを得さる場合に限り登記權利者單獨にて申請することを得

前項の場合に於ては登記申請書に單獨申請する旨及登記義務者か登記に協力することを得さる事由を記載し其實狀を證明したる村區長及四隣の保證書を添附することを要す

登記官吏は前項の保證書の外必要と認むる證明文件の提出を命することを得

第十條 本法施行前の商租契約にして商租期間の更新に付別段の約定なきものの商租期間の延長の登記に關しては第五條の規定を準用す

航政局官制

第一條 航政局は交通部總長の管理に屬し水路、港灣、船舶、海員、水先、航路標識其の他水運に屬する事項を掌る

第二條 各航政局を通し左の職員を置く

局長　三人　薦任

(内一人を簡任と爲すことを得)

事務官　六人　薦任

技正　六人　薦任

屬官　一八人　委任

技士　二三人　委任

第三條 各局の定員は交通部總長之を定む

第四條 航政局の名稱位置及管轄區域は別表に依る

第五條 局長は交通部總長の指揮監督を承け局務を綜理す

局長は部下の官吏を指揮監督し其の進退及賞罰に關し交通部總長に上申す

第六條 事務官は上官の命を承け事務を掌る

技正は上官の命を承け技術を掌る

屬官は上官の指揮を承け庶務に從事す

技士は上官の指揮を承け技術に從事す

第七條 航政局分科規程は交通部總長の認可を得て局長之を定む

第八條 交通部總長は航政局の事務分掌を爲す爲必要なる地に分駐處を設置することを得

第九條 局長必要ありと認むるときは縣長市長村長又は之に準すへきものを指定して所管の事務を委任することを得

附　則

第十條 本令は公布の日より施行す

第十一條 航政局組織法は廢止す

別　表

哈爾濱航政局　哈爾濱

第一松花江、第二松花江、嫩江、烏蘇里河、黑龍江、額爾克納河、此等の河川の支流及其の沿岸

營口航政局　營口

渤海、之に注ぐ遼河其の他の河川此等の河川の支流及其の沿岸

安東航政局　安東

黄海、之に注ぐ鴨綠江其の他の河川、豆滿江、此等の河川の支流及其の沿岸

産金買上法

第一條 政府は滿洲中央銀行をして産金業者より其の産金を買上げしむ

前項の場合に於ける買上價格は時價を基準として財政部總長之を定む

第二條 産金業者は其の産金を産金後三月以内に滿洲中央銀行に賣却す可し但し財政部總長の別に定むる場合は此の限りに在らず

第三條 産金業者は毎月十五日迄に前月の産金額を財政部總長に申告す可し

第四條 産金業者は毎年十二月末日迄に翌一年間の産金見込額を財政部總長に申告す可し

新に産金業を始めたる者は事業開始後一月以内に當該年度産金見込額を財政部總長に申告す可し

第五條 第二條の規定に違反したる者は違反に係る産金の價格の二倍以下の罰金に處す但し違反に係る産金の價格以下に降ることを得す

前項の場合に於て實業部總長は其の産金事業の停止若は廢止を命し又は鑛業權を取消すことを得

第六條 正當の理由なくして第三條の規定に依る申告を爲さす又は虚僞の申告を爲したる者は千圓以下の罰金に處す

第七條 本法施行に關し必要なる規定は主管總長之を定む

附　則

第八條 本法は公布の日より之を施行す

第九條 本法施行の際現に産金を業とする者は本法施行後二月以内に最近一年間の産金額並に本年十二月末日迄の産金見込額を財政部總長に申告す可し

金輸出禁止法

金地金(砂金を含む)金の合金又は金を主たる材料とする製品は之を輸出することを得す但し財政部總長の許可を受けたるときは此の限に在らす

前項の規定に違反したる者は違反に係る物件の價格の二倍以下の罰金に處し其の物件を沒收す

附　則

本法は公布の日より之を施行す

打ち抜いて 隅の極りを付けた

(卅五) 黒頭巾評

黒『□九十八』の斑立てより黒『△十』の斑立て迄となつて白には最も斑立ては外にないのであるから白は深く『△十一』と打ち抜いて隅の極りを付けた。

で、黒も『△十二』と打ち拔てい振り替つた。

だが、この振り替へりは、黒損であつた。例りに、替り振り替へつた局部丈は互格と見ても、白は『△十三』と打つて大局を殆ど完全に確定し得たのは成と言つても大過と言はざるを得なかつた。

これで、黒はとうとう『△十九』と飛び込んで行く機會を失つて仕舞つた。

從つて絶對に優勢だつた局面を何んだか勝敗の不明な細碁にせぬとも計り難い

失念して

とは言ふものゝ、黒には未だ良い處があるのだつた。

だが、これも高橋君はうつかり失念して居られたやうである。

で、黒『△十四』と覗へ頂け白『△

『△十五』と綽ね出し、黒『△十六』と切り、白『△十七』と一目拋え、黒『△十八』と當て、白『△十九』と粘ぎ黒『△二十』と粘ぎ白『△二十一』と封鎖した時に、黒『△二十二』と、白の一子を拋え込まうとしたのは甚だ殘念だつた。

その手で黒『△二十三』と打つて上邊一團の白を取つて置けば二十目許りの處である。

恐らくは、黒がそれで勝てたのだらうと思はれる。

比較にならぬ

黒『△二十二』の手を省略したからとて、まさか、左邊の黒の數子は萬にも一つ取られるやうな事はなかつたらう。

で、假へば白(い)と當てると、黒(ろ)と出て、白(は)なら黒(に)と伸び、白(ほ)と粘いでも、黒『△二十二』と出て行つては白はペシャンコであるし又白(い)と綽ねずに(へろ)と押せば、黒(い)と伸びて問題にも何にもならなかつたのである。

さうすると、黒『△二十』と粘いだ時に、白は手を拔いて『△二十三』と生きてゐなければならなかつた。

で、黒『△二十二』と押し、白(ほ)と約へ、黒(へ)と綽ね、白(と)と伸び、黒(ち)と、『六十二』の黒を粘いで白の三子を拋え込むのだから隨分大きいには相違ないが、上邊の白生きとは比較にならぬのであつた。

で、前の手順の中、黒『△二十二』と押して白(ほ)と約へ黒(へ)と約へた時に白が繼續に(り)と截るなら、黒(ぬ)白(と)黒(る)白(を)と提り・黒(わ)白(か)黒(よ)となつて白が取られるのである。

白も黒も危險一髮の處で手拔きをしたり悠々と構へてちつぼけな處を打つたりしてゐる隙は早碁ならでは見られぬ光景である。

併し、あんなに隱かつた白も何やら陣容を立て直して碁にして仕舞つた隙である。

いや、何んだか白の方に歩のある碁になつてゐるやうである。

黒の方が碁がよ過ぎたのと赤餘りに離れた爲めに戸惑ひの誤になつたのかも知れぬ、

圍碁新手合 (二局の十八)

三段 石塚行誠

五子 高橋久吉

トノ十八　トノ十九　劫トル　ヘノ十三　トノ十三　劫トル　ヘノ十九　ホノ十九　劫トル　イノ七　イノ八　劫トル　トノ九　カノ十九　ヘノ十　レノ十一　ソノ十一　ソノ十二　レノ十二　ソノ十　タノ十一　レノ十　タノ十二　ヨノ十一　リノ一

ヌノ三つぐ　劫トル　タノ十八劫トル　劫トル　劫トル　レノ十八劫　劫トル　劫トル

海の外から

□ピアノ型店舖

米國ロスアンゼルスに今度住宅と廣告兼用の樂器店舖が出現した、家の型は自動ピアノでキー迄添へ外觀は本物そつくり、ピアノ屋として目下近隣の評判の的

□電力應用の淨水器

主婦は台所衛生の責任擔當者であつて米國一般家庭では近時手輕な殺菌用淨水器を使用し初めた、此の器械は高さ三呎位、三重立体のもので飲料水を上部に注入し電流を通ずると、二分間にして第二第三の器を通過し最下部に出て來た水は理想的飲料水となつてゐると

□硝子張り圓屋劇場

佛國パリーに豫て設計建築中であつた總硝子張り圓屋劇場は此の程上棟式を終へたので七月中には完成するだらうと目下パリーッ子待望の的となつてゐる

新刊紹介

△刀劍と歴史(四月號)口繪に大原眞守刀、大慶直胤刀があり、新々刀の辨疑、鍛錬と硬軟組織其他附錄古今刀劍大鍛冶銘寄等あり一部金五十錢、東京市澁谷若木町羽澤文庫發行

△女醫界(六月號)花を折るもの、黒髪に幸あれ、女醫界展望、其他一部金二十錢東京麹町飯田町至誠會

△卓球公論(六月號)全日本學生卓球聯盟の創設其他斯界の好指針一部金二十錢大阪市港區石田元町卓球公論社

△明徳論壇(六月號)吾人は忠誠奥室を尊崇す、吾人は全世界の醇化を期す、吾人は建國精神創立する惡思想惡態度の撲滅を明すとの主義を主張する雜誌一部金十錢東京芝田村町明徳會

△名古屋印刷界(五月號)斯界の好參考書一部三十錢名古屋市港區港川町其社

△朝鮮及滿洲(六月號)釋尾社長の滿洲國の大官名士と語るを始め内外時事特に鮮滿に關する記事豐富漢詩俳句、短歌自由詩まであり一部金六十錢朝鮮京城蛤調其社

△新京(六月號)滿洲國建國によつて盛に叫ばれてゐる現下の問題として大亞細亞主義論(石川進)を掲載してゐるが一讀の要あるもの、また調査部を設立して「建設途上の滿洲國」「滿洲景氣報告書」を作製してゐるがこれは他の雜誌に見られない特色と充實した内容を示してゐる、爼上の滿洲と題して大增資後の滿鐵の鑑識(鞆轍手)滿鐵社員會の正體(眞川虎夫)國道建設局を描く(木部從夫)滿鐵マン生活第一歩等縱横に描き出し、經濟學博士木村增太郎氏の「滿蒙の産業指導原理」は聲を大にして叫ばれてゐる滿洲産業開發に關し、徒らに理想、實地に即せざる論の喧しき折柄、頂門の一針として貴重な一論説であらうその他初夏に相應しい讀物を滿載してゐる(價五十錢、新京日本橋通八番地新京社發行)

鮮魚小賣相場

品名	相場	品名	相場
活鯛	七六	マナカツ	三一
イセエビ	五三	小鯛	二〇
タチウオ	九	車エビ	三四
ニベ	一二	トビウオ	一三
ハモ	一二	ヒラズ	三五
ムツ	一六	アナゴ	一〇
サハラ	一三	サゴシ	四五
アワビ	九〇	スヽキ	一六
サヨリ	一五	カマボコ	一三
サバ	一〇	カマス	一九
シビ	二〇	アジ	一二
タコ	四五	小市	一〇
星カレ	八	イカ	二六
ウナギ	九〇	ヒラメ	八
ネーカ	七〇		

變幻黒船往來

(作) 寺島柾史　(畫) 布施長春

第八十四回

昔語り(八)

混血の男カチウドは、膝にもたれ泣き伏してゐる酋長の娘イサクのふるひおのゝく肩に、やさしく手をおいて靜かに何事か說き聞かしてゐる。黒船の甲板で、はじめてお互の素性を知つてから半月ほども經つたある日のこと、二人はヌタカリの山蔭の草原にブイ草を折り敷いて、さきほどから飽かず語り合つてゐるのだつた。

『のう、イサクどの、そなたの情は決して忘却はせぬ。すでに生命のないこの私を、元通りにしてくれたその恩義をわきまへぬではないが、さきほども申したとほり、私には重い任務があるのぢや。見逃してくれ……』

カチウドは、彼ゝの情を押し隠し、頻りにイサクを說き伏せやうとしてゐる。

すでに夕暮だつた。白樺の林に夕陽が落つて明るく名も知れぬ小鳥が無心に鳴き交してゐるが、草はもうつめたかつた。どこかでカツコ鳥が物哀しく鳴いてゐる。

『カチウドさまのお心はようく判ります。でもこのわたしは、どうあつても、あなたを一人松前とやらへやられませぬ。どうかこのことは思ひとまつて下さいませ』

イサクは涙にぬれた顔をあげてカチウドをみた。

『いや、そなたは、私のこゝろがよう判らぬのぢや。私のこころといふよりも、私の重い任務が理解できぬのぢや。この度の使節派遣は、たとひ、オロシア國では日本國を侵略せんための手段方法であらうとも、率直使節派遣が成し遂げられた暁は、オロシア國のみの利益ではなく、おのれの國のことより知らぬ日本國にとつても、どれほどの利益があるか測り知れぬのぢや……』

『……』

『といふのは、このまゝ日本國の蒙を啓いてやらぬときは、きつと見い。オロシア國に攻められるは必定……私は、オロシア國の人民ぢやけれど、この私の身體には日本人の血も通ふてゐる。オロシア國の利益だけで働く私なら、そなたのため、そなたの愛らしい心根にひかれ、このまゝ平和な村に生涯を送るだらう。だが、私はオロシア國のために日本國へ渡つて日本の急場を救つてやらうとする大決心を抱いてゐるのぢや。日本政府の役人の痴夢をさましてやる。それでこそ両國が圓くおさまり、眞情から通商貿易が成就するといふものぢや。その重い任務があればこそ大恩うけたそなたの苦しい胸のうちを察せず袂を振切つて行かうとするのぢや、許してくれ』

カチウドは痛々しげに身をふるはしてゐるイサクの肩をなでゝ、ともすれば頰を傳はらうとする熱い涙を拂つた。

『よう判りました。男らしいあなたさまの御決心を反古にはいたしたくもありませぬ』

『おゝきいてくれるか』

『いゝえ。でも、船はあの通り破じてをります。蝦夷舟では、おもふてもおそろしい』

『だが、ほかに蝦夷松前へ渡る手段がないのぢや。一年待つても二年たつたとて、この平和な樂土の村へは、日本の船はおろか、どこの國の船も寄港することもあるまい。たまにあれば主のない漂流船……おゝ私は、どうあつても、あのアホーテスク號を動かして行かう……』カチウドは、眼をあげて沖合を望むだ。

『そのやうな無茶なことはなりませぬ。カチウドさま。どうぞそのことだけは思ひ止まつて下され。そのうちには蝦夷松前へ渡る機會もございませうから……』

ふたゝび涙にあふるゝ瞳をあげてイサクは、混血兒カチウドのたくましい顔に眼すがる。

カチウドも今は無言のまゝイサクの上半身を熱情的に抱いた。